

331ガス溶接装置を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	14 ～ 15	工場内で、鉄板でできた小天井本体（直径約1.5m）の修理のため、安全靴を履き鉄板の上に乗ってしゃがんだ姿勢でガスバーナーを使い鉄板の切断を続けていたとき、既に切断が終わった後の熱くなっていた箇所（面）に自分の作業服（太もも裏辺り）が触れていたことに気付かず、作業を続けていたところ、作業服に火がついてしまい太ももを火傷した。	35	11	11209	10 ～ 29 人
2	2018	1	14 ～ 15	現場で軍手をし、その上に皮手をして溶接作業をするが、熱と汗で炎症し、炎症箇所からばい菌が入り化膿してしまった。	21	11	11209	1 ～ 9 人
3	2018	1	11 ～ 12	解体工事現場で、鉄骨の柱のガス切断中に切断した柱が左足親指に飛来し、左足親指側部に裂傷を負った。	41	4	30209	10 ～ 29 人
4	2018	2	10 ～ 11	場内作業中、鉄スクラップをガスで切断中、火花が衣服に移り火傷した。	72	11	11209	10 ～ 29 人
			15	当社機材センター内で、地盤改良機の攪拌翼の修理作業をしていて、被災者はつなぎ服の上に皮製エプロンに掛けて鉄板を切断して				1 ～

5	2018	2	～ 16	いるときに、火花が首から中に入りつなぎ服の下に着ていたナイロン製のジャージに引火した、すぐに防火用バケツ内の水を被ったが消えず、皮膚に火傷をした。	69	11	30199	9 人
6	2018	2	14 ～ 15	廃材切断の際、ガス切断で回転軸の切り離し作業で、切り離された鉄塊が10cmの高さから左足先に落下し、小指が挟まり骨折した。	42	4	11009	1 ～ 9 人
7	2018	3	13 ～ 14	工場内で製品の溶接作業中に誤って溶接済みの部分に接触、右前腕に熱傷を負った。	35	11	11209	10 ～ 29 人
8	2018	3	9 ～ 10	バンドソーの近くの場所で、段差をなくすため、コンクリートの上の鉄板を少し上げて切断しているときに、ガスの火が地面に当たってはね返り軍手に燃えうつりやけどをした。	46	11	11209	1 ～ 9 人
9	2018	4	11 ～ 12	ボルトの溶接作業を行っているとき、ひとつ目のボルトを溶接した後で、二つ目のボルトを溶接するため、左手親指で押さえながら設備にセットをした。左手を離そうとしたがプレス品に軍手が引っ掛かり離しきることができなかった。一連の作業のため右手でボタンを押してしまい、稼動した設備に指を挟まれ親指先端に裂傷を負った。	51	7	11203	30 ～ 49 人
10	2018	4	11 ～ 12	スポット溶接作業でプレス品にボルトを溶接するために、ボルトが抜けないように左手で押さえスイッチを右手で押し左手をボルトから離そうとしたが、軍手がプレス品に引っ掛かり左手親指を挟んだ。	51	7	170101	30 ～ 49 人
11	2018	7	13 ～	新築工事において地下3階にて作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	31	16	30201	1 ～ 9



			14	た際に、被災した。				9 人
19	2018	7	13 ～ 14	新築工事において地上3階にて作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	23	16	30201	1 ～ 9 人
20	2018	7	13 ～ 14	新築工事において地下4階にて作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	49	16	30201	1 ～ 9 人
21	2018	7	13 ～ 14	新築工事において屋上にて作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	46	16	30201	1 ～ 9 人
22	2018	7	13 ～ 14	新築工事において作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	45	16	30201	1 ～ 9 人
23	2018	7	13 ～ 14	新築工事において屋上にて作業中、火災が発生したため、避難した際に、被災した。	63	16	30201	1 ～ 9 人
24	2018	7	13 ～ 14	新築工事作業所にて、構台上に13tラフタークレーンをセットして構台杭（350H）を撤去するため、構台杭を吊っていた。地下3階では、鍛冶工が構台杭の溶接作業を行っていた。その後、下層階から火災が発生し煙を吸い込んだ。	57	16	30201	1 ～ 9 人
			13	建設現場（免震階）において、電気工事作業をしていたところ、地				1 ～

25	2018	7	～ 14	下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙により避難することができず死亡した。	68	16	30301	9 人
26	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場（地下3階）において、作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、喉に痛みを感じた。	50	16	30301	1 ～ 9 人
27	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場（免震階）において電気通信工事作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、呼吸困難等の症状がでた。	40	16	30301	1 ～ 9 人
28	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場（B3階）において配管工事作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、喉に痛みを感じた。	56	16	30301	1 ～ 9 人
29	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場において作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、呼吸困難等の症状がでた。	45	16	30301	1 ～ 9 人
30	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場（地下1階）において作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、喉に痛みを感じた。	44	16	30301	1 ～ 9 人
31	2018	7	～ 14	13 オフィスビル建設現場（地下3階）において作業をしていたところ、地下3階から火災が発生し、立ち込めた黒煙を吸い、喉に痛みを感じた。	37	16	30301	1 ～ 9 人
				13 オフィスビル建設現場（地下3階）において電気通信工事作業をして				1



39	2018	9	10 ～ 11	荷卸し先構内にて、積み荷の鉄くずを2名で荷卸し作業中、1名が酸素で鉄くずを切断した際に、近くにいた被災者の皮手袋の隙間に火花が飛んで、右手首に火傷を負った。	51	11	40301	～ 29 人
40	2018	10	11 ～ 12	会社内の作業場で重機バケットをガス溶接していたとき、作業中に引火して火傷を負った。作業当時、防災溶接帽・眼鏡・防災グローブ・安全ブーツを着用していたが、作業服のみ防災仕様ではなかった。	76	11	40301	1 ～ 9 人
41	2018	12	15 ～ 16	工場内に停車していたトラックの荷台で金属塊をガスバーナーで切断していた際に、切断箇所から火花が飛び、衣服に燃え移った。咄嗟に皮手袋を外し、素手で衣服を脱ごうとしたため、両手と左脇腹、顔に火傷を負った。	64	11	170209	10 ～ 29 人
42	2018	12	14 ～ 15	定置スポット溶接機にて、プレス品にフランジナットPPJ溶接で取り付け作業を行っていた際、誤ってフットスイッチを踏んだ。機械が作動し、右手人差し指を挟み、打撲及び骨折を負った。	64	7	11502	50 ～ 99 人
43	2018	12	14 ～ 15	工事現場にて、ガス切断作業をするために、アセチレンボンベにアセチレン用調節器を取り付けようとしたが、ガスボンベスタンドに引っ掛かり、取り付けられなかった。そこで、ボンベの下端を持って動かしたところ、ボンベがスタンドの仕切り上に乗って浮いた状態になっていたため、ボンベが仕切りから落下した。ボンベとスタンドの間に右手小指を挟み、複雑骨折した。	64	7	30199	1 ～ 9 人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。